

大分銀行赤レンガ館について

～赤レンガ館と地域商社Oita Made(株)～



株式会社 大分銀行
地域創造部 副部長 三代吉彦

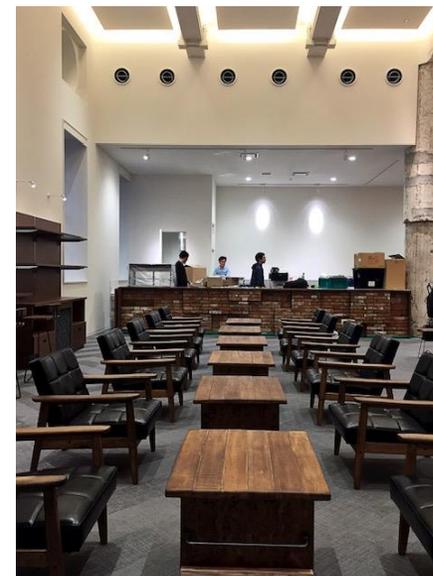


大分銀行赤レンガ館



Oita
Made

『Oita Made Shop赤レンガ本店』



Tautona Coffee
タウトナコーヒー

『タウトナコーヒー赤レンガ店』

工事概要

1. 明治43年（1910年）9月着工（旧二十三銀行本店）
大正2年（1913年）4月竣工
 - ・設計者 東京大学教授 辰野金吾氏
 - ・総工費 168,000円（約5億円相当）
 - ・構造 煉瓦造スレート亜鉛メッキ銅板板葺3階建て
土台・・・地下2mまで大理石を埋め込み
煉瓦・・・イギリスより直輸入
 - ・延面積 1,541.47m²
2. 平成5年赤レンガ館リニューアル
 - ・構造 煉瓦造鉄筋コンクリート
鉄骨造スレート亜鉛メッキ銅板板葺3階建
 - ・延面積 1,485.76m²

年 表

時 期	イ ベ ント
明治43年9月 (1910年)	旧二十三銀行本店として着工し大正2年4月竣工
昭和20年 (1945年)	戦災により一部の壁を除き焼失
昭和24年 (1949年)	改装し大分銀行本店として使用開始
昭和41年 (1966年)	現大分銀行本店竣工に伴い、事務所・会議室「府内会館」 として使用開始
平成 5年1月 (1993年)	創立100周年記念リニューアルにより「大分銀行赤レンガ館」として使用開始
平成26年4月 (2014年)	1階の「ローンプラザ支店」が新築「宗麟館」に移転後、貸ホールとして運営
平成29年8月 (2017年)	大分銀行が設立をサポートした地域商社「OitaMade(株)」が入居
平成30年3月 (2018年)	内装リノベーション後「Oita Made Shop赤レンガ本店」と「タウトナコーヒー」が入居

各賞受賞および登録

年	各賞・登録名
平成5年（1993年）	大分市 「生き枠大分まちづくり活性化協力賞 まちづくり活性化特別賞」受賞
平成5年（1993年）	(社) ニューオフィス推進協議会 「日経ニューオフィス賞 九州ニューオフィス奨励賞」受賞
平成6年（1994年）	(財) 日本産業デザイン振興会主催 通商産業省 「日本グッド・デザイン施設部門賞」受賞
平成7年（1995年）	(社) 建築・設備維持保全推進協会 「BELCA賞ベストリフォーム・ビルディング部門」受賞
平成8年（1996年）	文化庁文化財保護審議会 「登録有形文化財」※指定

※登録有形文化財・・・「有形文化財」とは、文化財保護法第2条第1項第1号において規定された建造物（不動産）や美術工芸品（動産・可動文化財）等。その内「登録有形文化財」とは、平成8年の文化財保護法改正により創設された文化財登録制度に基づき、文化財登録原簿に登録された有形文化財のこと。

リノベーションの基本方針

- 銀行の利益だけでなく地域社会への貢献を目指す
- クリエイティブ・プラットフォーム機能を持たせる
- エリアの賑わい作りに貢献する
- 県内地域にお金が回る仕組みとする
- 辰野金吾氏の設計意図を出来るだけ感じられる場所とする

店内設計の基本方針

- 大分市中心市街地のシンボルにふさわしい雰囲気とする
- 壁を作らず空間を広く見せくつろぎ易い空間とする
- オリジナルの赤レンガ壁面を見せる
- 装飾を極力排除する
- 什器等も県内産にこだわる
- 県内の若いクリエイター達が集まり易い場とする

赤レンガ館内の特徴



建物内部に露出させた赤レンガ壁



装飾を撤去した柱



旧銀行店舗の証



天井高6.25mの壁のない空間



地元若手クリエイターの作品

赤レンガ館内の什器等



県産杉・竹製レジカウンター



県産杉製オリジナル陳列台



赤レンガ館窓枠を活用した書棚



リフィニッシュした「カリモク60」



窓枠を活用した個性的な椅子



電源タップ + Free Wi-Fi

基本構想検討の際に参考にした事例



三菱一号美術館／東京ステーションギャラリー



尾道U2



宮原眼科／第四信用合作社(台湾)



松山文創園區／華山1914創意園區(台湾)

過去に開催されたイベント



アップサイクル イベント



OPAM新見館長 D&Dナガオカ氏対談



NHK交響楽団篠崎氏 演奏会



「進撃の巨人展」コラボレーション

Oita Made株式会社の概要

所在地 …大分県大分市府内町二丁目2番1号 赤レンガ館

設立日 …平成29年8月1日（火）

事業内容…地域ブランド商品の企画開発・販売、ランドオペレーター業務、不動産活用等によるまちづくり業務 他

社員 …代表取締役社長佐藤徹一他社員4名、パート

資本金 …20百万円

設立目的…大分県内の優れた一次産品・観光資源等素材をクリエイティブ等の付加価値を付して商品化し販売、利益を関係者に還元することで地域経済の活性化を図り、生産者、地域、自社の“三方よし”を実現する。

Oita Madeブランド商品



食品



酒類



温泉関連



アクセサリー



陶器

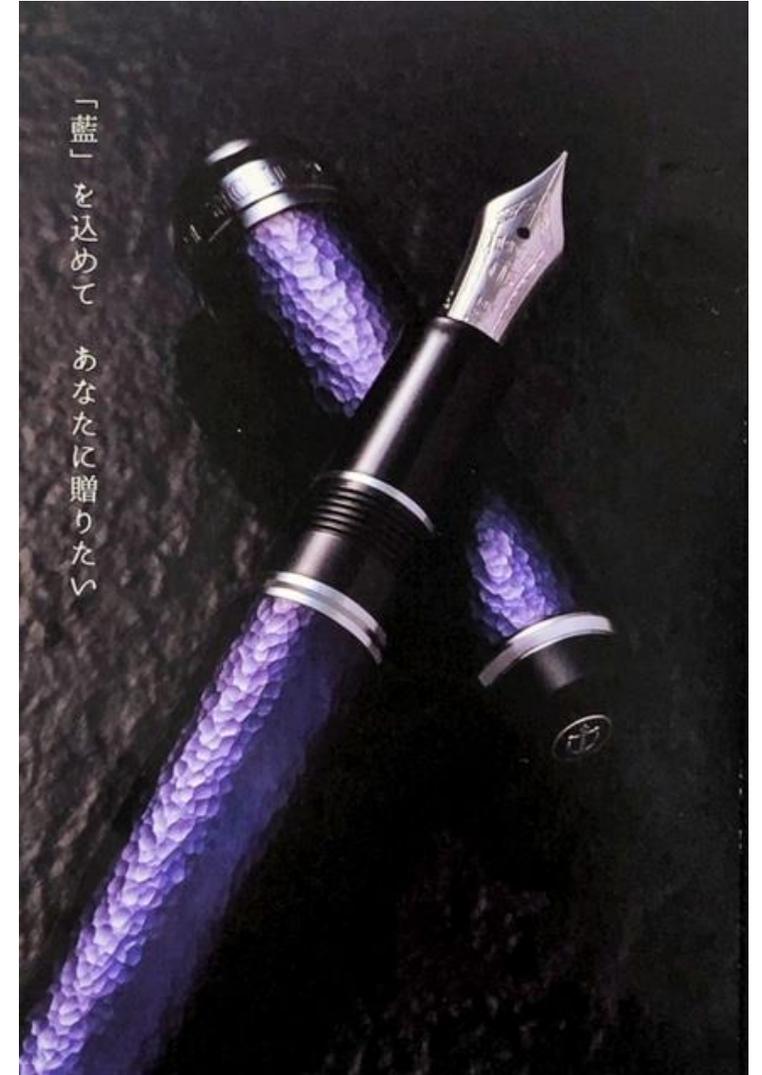


日田下駄

『JAPAN BLUE万年筆』

コンセプト 地元企業連携の上、クリエイティブ等の力を活用して“大分ならではの”の商品を開発し、国内外に販売する

- 商品の特徴
- 不可能と言われた金属への天然藍彩色
 - 重量感のあるアルミニウムボディ
 - 細かい打刻によるグラデーション
 - キャップと本体を繋ぐ特別なパーツ
 - 手に持った際の絶妙なバランス
 - 力を加えなくてもよい書き易さ
 - 国内トップレベルの組立精度と仕上げ
 - 専用に設計されたオリジナルボックス
 - 定価54,000円（税込）





OITA BANK

ご清聴ありがとうございました！

大分銀行 地域創造部 三代吉彦